

新千歳空港について

1. 除雪体制のさらなる強化について

① 滑走路・誘導路の降雪等への対応

冬期における除雪能力は年々向上しているものの、昨年度は湿った雪質の影響もあり、大規模なイレギュラーが発生している。引き続き、除雪能力の向上、ならびにイレギュラー時のお客様への影響を最小限にするための除雪終了時間の精度向上に向けた取り組みを実施し、全般的な除雪精度の向上に努めることを要請する。

② 航空機および車両走行の安全性強化に向けた、特にスリップしやすいエリアの改修もしくは適切な除雪の実施について

冬期において、旅客や貨物搬送で頻繁に使用するC-GSE通路や0～3番スポット前におけるターミナルGSE通路を中心に、路面凍結のため車両がスリップし、搬送遅れなどが発生している。また、C-GSEエリアの勾配と凍結により、車両が動けなくなる事象も発生している。C-GSEエリアの勾配改善や除雪をさらに強化し、安全に通行できる状態を維持することを要請する。

2. ランプ内における課題について

① ターミナルエリアと貨物地区を結ぶGSE通路の改善について

LCCの就航に伴い、ターミナルエリアと貨物地区を結ぶC-GSE通路を走行する際、0・1・2スポットを使用する飛行機の出発・到着のために時間を要する事例が多く発生しており、そのために貨物搭載が遅れ、出発遅延につながる事例も発生している。ターミナルエリアと貨物地区を結ぶC-GSE通路が飛行機によって通行できなくなる時間の短縮を要請する。

〈出発待ちによるGSE通路渋滞の様子〉



〈車両通行帯の段差〉

② GSE通路全般の改善について

夜間や雨天時においては、GSE通行線が見えにくくなっている場所があり、車両の運転で危険を感じることもあるため、通行線の再塗装や、運航乗務員に影響を及ぼさない範囲で、通路全体を照射できる照明施設の設置など、さらなる改善を要請する。また、車両通行帯の舗装箇所の段差により、貨物運搬時に大きな揺れが生じ危険を感じるため、路面の点検ならびに改修を要請する。

③ 空港敷地内への不法侵入対策の強化について

過去、鹿の侵入により2本の滑走路が閉鎖する事象が発生している。不法侵入の追加対策として、鹿防止ネットや忌避剤などが設置されているが、航空機との衝突など、安全性を損なう事象に繋がりがかねないことから、定期点検とさらなる強化を要請する。

④ スポットサイドの誘導路およびスポットエリアの補修

長年使用してきた誘導路やスポットではくぼみが生じ、雨天時に大きな水たまりが恒常的に生じている。働くものが水に足を取られることに加えて、防除雪氷液によって滑りやすい状態にあるため危険である。スポット 8-9、スポット12-14の前を中心とした全体的な点検と補修を要請する。 **【新規】**

3. PBBの安全対策および老朽化について

① PBBステップの滑り止め対策について

冬期においては機側作業員（清掃・グラハン・整備）や運航乗務員が積雪・氷結したステップで滑る事例が報告されており、受傷も発生している。国際線ではヒーティング化されているが、国内線ターミナルでは実施されていない。現状では安全上問題があることから、PBB管理者による改善を要請する。

② 国内線PBBの老朽化について

国内線PBBは長年使用されており、雨漏りや作動しなくなるなど、老朽化が原因と考えられる不具合が多数発生しているため、点検の強化ならびに不具合箇所の早期改修を要請する。

③ 国内線PBB内の凍結防止について

国内線PBBは、冬期においては路面が凍結していることもあり、お客様が転倒する事象も発生している。冬期凍結を防止するためのさらなる対策を講じることを要請する。

4. 空港関連施設について

① ターミナルビル改修後の運用状況について

現在進められているターミナルビル改修工事により、保安検査場の増設や乗り継ぎ動線の改善、バスゲートの改善、バリアフリー化の推進などが進められている。その一方で、空港内の案内表示が見えづらく、お客様が迷っている状況も見受けられる。改修後の運用状況を確認しながら、必要な対応をタイムリーに講じることを要請する。また、新千歳空港のさらなる利用促進の観点から、到着動線と出発動線を分離することや、冬期イレギュラー時の負担を軽減できる待合室の拡充を要請する。

【新規】



（改修中のターミナル内と案内表示）

② 空港ビル内の空調設備の改善

新千歳空港では、コージェネレーションシステムやクールプロジェクト（雪冷熱供給システム：備蓄した雪を利用したターミナルビルの冷房）を通じ、CO₂削減に取り組んでいるが、環境負荷軽減と快適性向上の両面を評価し、さらに深化させていくことが必要である。具体的には、混雑状況に応じた空調温度の設定など、運用面の工夫も必要だと考えており、クールプロジェクトの深化とあわせて、空港ビル内の快適性の向上に取り組むことを要請する。

【新規】

③ 国際線ターミナルの機能強化について

これまで手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQに関する設備が増設されているが、増設したカウンターの設置場所は利便性が悪く、使用が制限されており、十分に活用できているとは言えない。今後、国際旅客のさらなる増加が予想される中、需要予測を考慮したうえで、手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQなどの処理能力向上を図ることを要請する。

④ 従業員用臨時駐車場の運用について

現在、駐車場が増設されており、その間、従業員は月極専用臨時駐車場を利用している。しかし、街灯もなく空港から遠いことや、連泊ができないために出張時には利用できないなど、利便性が高いとは言えない。空港を支えている従業員にとっても利便性が向上するよう、関係機関への働きかけを要請する。

【新規】

観光政策について

1. 需要喚起に向けた観光施策の実現

① 国内の需要喚起について

北海道全域に広がる魅力にあふれた観光地のプロモーション活動に加えて、増加する需要に応じた受入環境の整備を各自治体との協力のもとに強力に推進し、さらなる需要喚起を図ることを要請する。

また、リピーターとして何度も北海道を訪問するサイクルを生み出すためにも、航空各社・ホテル・レジャー施設などが、それぞれのノウハウを活かし、官民が一体となった観光政策の立案が必要であり、道庁による横断的な調整力と強力なリーダーシップを発揮するよう要請する。

② インバウンドの需要喚起について

北海道への外国人観光客数が200万人を超え、中国や台湾を中心としたアジア圏の方々が大半を占めている状況にある。一方、アジア圏以外の旅行者数も増加傾向にあり、国別や属性別などの分析を深めたうえで、戦略的に海外でのプロモーションを推進し、広域観光周遊ルートを活用するなど、北海道としてのリソースを最大限活用することを要請する。

2. 新千歳空港へのアクセス向上について

① 新千歳空港と札幌近郊地域における公共交通機関のアクセス向上について

JRのダイヤ改正により札幌から新千歳空港への到着時間が早まり、利用者の利便性向上が図られているものの、昨今の空港利用者数の増加、現在検討されている新千歳空港深夜枠利用便の増加を考えると、札幌近郊地域と新千歳空港間については地上交通機関同士の乗り継ぎを含め、さらなる利用者の利便の向上が必要である。札幌近郊地域と新千歳空港間における公共交通機関のネットワークとしての利便性向上を図り、早朝および夜間帯の時刻設定の改善など、関係機関への働きかけを要請する。

【内容変更】

航空連合 成田

1. 空港機能強化

成田空港が世界の数ある空港の中でお客様から選ばれる空港になるため、空港機能強化による成田空港の競争力向上が必要不可欠である。既存ストックの有効活用を前提に、需要予測を精査した上で必要な機能強化策を講じるべきである。具体的には、地元との合意形成を前提に「夜間飛行制限の緩和」をはじめとした空港機能の強化策の検討により、現状の課題に対応するとともに、お客様の利便性を追求することで、将来増加が見込まれる航空需要を確実に取り込み、世界中のお客様から選ばれる空港を目指すべきである。 **【新規】**

2. 設備

空港内の案内表示

① 駅改札から出発ロビーへの動線の案内について

駅改札から出発ロビーへは様々なルートで行くことができるが、現在の案内ではどのルートが最短ルートなのか分からないため、より分かりやすい動線の案内が必要である。 **【内容変更】**

② 案内表示のデザインについて

世界各国からお客様が訪れる成田空港においては、言語にとられない視覚に訴えかけるデザインによる案内が有効だと考える。T3の案内表示を良い前例として、案内表示のデザイン統一化や分かりやすさを追求した案内表示を推進していくべきである。 **【内容変更】**

トイレ

① LGBT対応のトイレ設置について

更なる需要の増加に対応するため、ユニバーサルデザインの充実をさらに進めていく必要がある。特にトイレに関して、LGBT対応の「だれでもトイレ」は航空会社ラウンジ内にしかないため、各ターミナルに複数設置すべきである。 **【新規】**



飲食店・販売店・その他店舗

① 飲食店・販売店の充実について

出国審査後の出発エリア、到着ロビー、国内線エリアについては飲食店の数が少なく、店舗の拡充が必要である。また、空港利用者以外の一般のお客様にも空港を訪れ、楽しんでいただくためにも、新たな飲食店・販売店やアミューズメント施設等の展開が必要である。

② T1 空港クリニック診療時間及び急病人発生時の対応について

T1にある空港クリニックは診療時間が短い上、土日祝日が休診となっているため、診療時間外についてはT2のクリニックまで移動せざるを得ない状況である。診療時間の拡大及び土日祝日の診療が望まれる。また、急病人が発生した際に、クリニックの医師が初診を行えるようなホットラインを確立するなど対応が必要である。 **【内容変更】**

③ T1 5階 フードコートのお子様用椅子について

T1 5階フードコートにはお子様用椅子がないため、共用のお子様用椅子の設置が必要である。 **【新規】**

その他

① A6駐車場出入り口の増設について

A6駐車場は出入り口が1ヶ所しかなく、また出入り口が面する空港東通りは渋滞が激しいため、第6ゲート利用者は空港東通り2交差点でUターンせざるを得ない状況が続いており、危険なため改善が必要である。 **【新規】**



② ダムウェーターの設置・機能強化について

荷物昇降用のダムウェーターはT1の一部のスポットに設置されているのみで、T2には一台も設置されていない。ダムウェーターが無いスポットでは、重たい荷物で両手を塞いだままPBBを降りなければならない、安全上の問題がある。今後の更なる空港容量拡大を見据え、ダムウェーター設備の増設、強化が必要である。

③ 特殊貨物に対応できる上屋へ

海外の空港では貨物解体場所自体が冷蔵施設のものもあり、またパレットごとにX-RAY検査が出来る設備が整えられている。今後の航空貨物の安全性・高速性・品質を保つためには、貨物上屋の拡大や冷蔵・冷凍施設などの特殊貨物を取り扱える施設の拡大・充実が求められる。

3. 空港の運用

① 出入国検査場混雑について

出入国検査場の外国人ブースでの混雑が目立ち、入国に1時間以上要するケースも散見される。ファストレーンの運用なども行われているが抜本的な対策にはなっていない。乗り継ぎ利便性の向上の観点からも、到着便が集中する時間帯のオープンブースの増設や職員の増員などの対応が必要である。

② 夜間におけるAPU(補助エンジン)使用制限の緩和について

現行では APU 使用可能時間が原則6時～22時までと制限されている。夏季においては、コックピットや客室内が極度の高温になるため作業者が熱中症になる危険性があり、作業者の安全のためにもAPUを使用したエアコンの作動が可能となるよう早急に対応が必要である。 **【内容変更】**

③ 気象情報の統一的な活用について

落雷警報の発令などは各事業者の判断に委ねられており、事業者の安全確保の観点から、空港内で統一した基準の設置に向けた検討が必要である。 **【新規】**

4. 交通

鉄道

① 成田空港及び空港第2ビル駅の駅名について

JRおよび京成の駅名が「成田空港」、「空港第2ビル」となっており、初めて成田空港を利用されるお客様にとっては分かりにくい。英語表記と同様に「成田空港第1ターミナル」「成田空港第2・第3ターミナル」という、すべてのお客様に分かりやすい表記に変更すべきである。

② 成田空港駅及び空港第2ビル駅における中間改札について

成田空港駅及び空港第2ビル駅には中間改札があり、改札前で困惑しているお客様や、一つ目の改札で切符を取り忘れるお客様が散見される。特に空港第2ビルの中間改札は鉄道会社をまたがっており、より複雑になっている。中間改札を廃止し、よりスムーズな動線の確保が必要である。

バス

① バスチケットの購入方法及び乗車方法について

成田空港発のバスのチケットを購入する際、バス運行会社によりチケット販売カウンターが異なるため、カウンターを間違えて列に並ばれるお客様が多数見受けられる。運行会社に関わらずチケット販売カウンターを統一するなど、よりわかりやすい仕組みに変更すべきである。

② LCCバスの空席情報の表示について

多くのLCCバス運行会社では、事前予約をしていない場合、直接乗り場で料金を支払い乗車するシステムが採用されているが、乗り場には空席情報の案内がなく、バスが来るまで乗車できるか分からないため、空席情報を事前に表示する案内板等の設置が望まれる。 **【新規】**

5. 施設補修

① ランプ内車両通行線の視認性改善について

ランプ内車両走行ラインは雨天、夜間、濃霧発生時など、著しく視認性が悪くなる。加えて、成田空港は車両通行線がセンターラインしか引かれていない区域も多く、危険性を助長しているため、より視認性・耐用性の高い塗料にて明示すべきである。

6. その他

① シフト勤務に対応した時間外保育の更なる充実について

シフト勤務に対応した保育施設が少ないために出産に対する不安の声や、育児休職後の職場復帰に対する不安の声が多く寄せられている。空港勤務者が多く在住している成田市は勿論のこと、空港通勤圏内の近隣市町村や、千葉県からの協力も含め、更なる環境整備が必要である。 **【内容変更】**

② AUTO ELT 試験時間制限の緩和について

航空機が被雷した際に必要となるAUTO ELTの試験について、就航便の定時性確保の視点から、試験電波発射時間制限の緩和が必要である。

③ 空港内車両運転許可の全国統一化と講習・試験の簡素化について

空港内の車両運転に関わる基本的なルールはすでに全国で統一されていることから、講習・試験の内容を空港別のルール・注意事項のみとすることで簡素化することができる。加えて、オンラインによる講習・試験や各事業者による教育の導入を検討することで、タイムリーな車両運転許可の取得を促進していくべきである。 **【内容変更】**

1. 航空局東京空港事務所

① ランプ内損傷箇所・不鮮明な地面標示の補修

羽田空港のランプ内で働くものの安全確保や利便性の改善のため、ランプ内損傷箇所や不鮮明となっている地面標示の補修および改修の対応をお願いしたい。

② 誘導路横断時の安全性・利便性の向上

無線チャンネル混雑時の誘導路横断許可確認手段の工夫や、整備格納庫南側の誘導路（A-TAXIWAY）横断時の視界確保の観点で横断路移設の検討をお願いしたい。【新規】

③ 空港内のセキュリティ強化

航空保安強化の必要性が高まっているものの、空港内施設の立ち入りは、従来から一人ひとりの意識に依存している状況である。空港関係者全員が航空保安要員だという意識付けは継続したうえで、セキュリティ強化の観点から、システムの改修も含めた対応を検討いただきたい。【新規】

④ 救急搬送時の対応力強化

飛行中の航空機からの要請を受け救急搬送をする際、救急車が制限区域外から空港に入るため、搬送に時間を要する。空港での救急搬送のあり方を検討し、制限区域内への入港を含め、速やかに対応できる仕組みを構築していただきたい。【新規】

2. 日本空港ビルデング

① 空港利用時の利便性向上

- ターミナル内から駐車場への連絡通路や周辺ホテルへのシャトルバス乗り場の動線が分かりづらいため、表示の改善をお願いしたい。
- 空港内循環バスの乗降車場所が各ターミナルに1か所であるため、各ターミナルの南北2か所に設置を検討いただきたい。また、ターミナルから乗り場までの動線を分かりやすく表示していただきたい。
- 第1、第2ターミナル内のベンチの数が不足しているため、増設するとともに、優先座席の割合を増やしていただきたい。【内容変更】

〈第1ターミナルPBB〉

② ランプエリア内
施設の改修

電動車いすなどを係員が階段で運ぶ際の安全確保の観点から、第1ター



ミナルPBB内のエレベーターを増設していただきたい。【新規】

③ 航空保安・テロ対策強化

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらなる保安強化策の検討をお願いしたい。

④ 空港周辺道路の標示・運用の改善

- 空港周辺道路において、高速道・一般道・循環レーンなど、道路の種類が明確になるよう、路面の色分けなどの対応を検討いただきたい。
- 多客期における駐車場入場待ち車両の渋滞が恒常化しているため、改善をお願いしたい。また、循環バスの運行を妨げないように、専用レーンの設置など検討をお願いしたい。
- 到着階では一般車両による送迎が多いため、送迎エリアの確保や一般車両の乗り入れ場所の明示など、対応をお願いしたい。【新規】

3. 東京国際空港ターミナル

① 空港利用時の利便性向上

- 北側の保安検査場および出入国検査場のない係員専用レーンや優先レーンの設置を検討していただきたい。また保安検査場の待ち時間の可視化を検討していただきたい。
- 到着ロビーからバス乗り場までの動線に加えて、飲食店をはじめとした空港施設の営業時間と場所などの案内表示を改善していただきたい。
- 深夜便利用旅客の利便性向上のため、飲食施設の営業時間の拡大や、簡易宿泊施設の増設などの検討をお願いしたい。【内容変更】

② 国内線第2ターミナルの国際化に向けて

混乱を生じさせないような旅客動線を確保し、航空保安で問題が生じることがないように、内際ターミナル間で連携を図りながら検討をお願いしたい。【新規】

③ タクシープール・バスプールの混雑緩和

一般車両ゾーンの変更や、深夜時間帯のタクシーレーン、タクシー乗り場の位置の移動などを検討し、混雑の緩和をお願いしたい。また、一般停車車両、不法停車車両の取り締まりを強化し、駐車場への案内をお願いしたい。

④ 無料Wi-Fiの環境整備

2020年に向けて国も強力に推進している無料Wi-Fiの利用環境について、さらに改善を図り、内際ターミナル間での仕様の統一をお願いしたい。

⑤ 日本の玄関口としての魅力向上

今後のさらなる訪日需要の獲得に向け、日本の魅力をより感じてもらえるようなイベントの促進や、施設の充実などの検討をお願いしたい。【新規】

4. 京浜急行電鉄

① 駅利用客の利便性向上

- 外国のお客様にも分かりやすいよう羽田空港駅構内の案内表示を改善することや、国際線ターミナル到着時のアナウンスの強化をお願いしたい。
- 「おもてなしガイドアナウンス放送アプリ」実証実験状況の確認と、本格運用の開始をお願いしたい。
- 国内線ターミナル駅のエレベーターの容量拡大や動線改善などの対応をお願いしたい。

【内容変更】

② 羽田空港-成田空港間のアクセス改善

訪日外国人を含む利用者と通勤利用者の利便性向上のため、特急電車の運行を増便するなど検討をお願いしたい。 【新規】

③ 空港線の輸送力向上

羽田空港国内線ターミナル駅引上線新設の早期着工と、通勤時間帯の空港アクセス改善の観点から、ダイヤの検討をお願いしたい。 【新規】

5. 東京モノレール

① 駅構内の利便性向上とバリアフリー化

- 浜松町駅構内の混雑緩和に向けて、浜松町西口地区の再開発完了後の状況をふまえた施設・動線のあり方を検討していただきたい。
- 他社線乗り継ぎにおける利便性向上や天王洲アイル駅でのりんかい線への乗換え動線の改善、新整備場駅のバリアフリー化を検討していただきたい。

② 自動券売機の利便性向上

自動券売機でのクレジットカード利用に向けて、機器の改修をお願いしたい。また、自動券売機でモノレールSuicaの払い戻しができるよう対応を検討していただきたい。

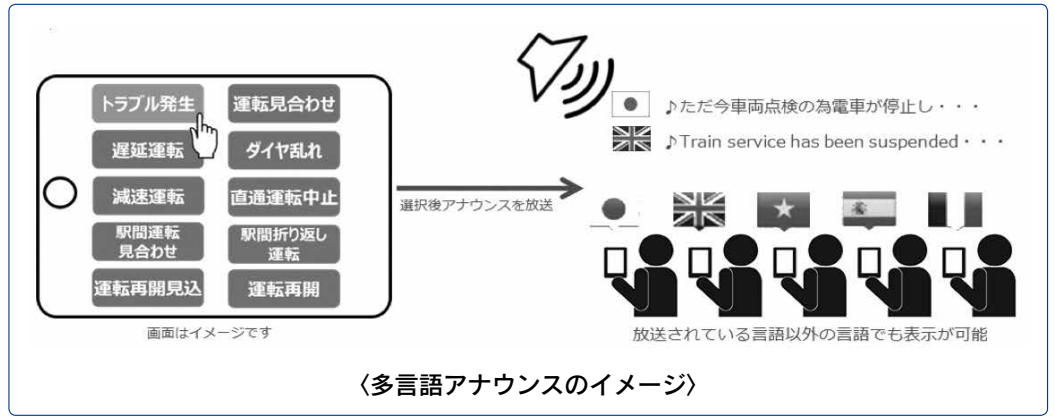
③ 利用者の安全確保

他交通機関のダイヤが乱れた際に、モノレール浜松町駅ホームにお客様が集中することがある。状況に応じて駅係員によるアナウンスやサポートの強化をお願いしたい。 【新規】

6. 東京空港交通

① 運行ダイヤの利便性向上

深夜における羽田空港発着便の増加にともない、空港と各地を深夜に移動されるお客様も増加している。バス最終便の繰り下げや増便などの検討をお願いしたい。 【新規】



〈多言語アナウンスのイメージ〉

② 空港内バスカウンターの混雑緩和

空港から各地へ向かう路線バスは、行先も多岐にわたることから空港ターミナル内のバスカウンターを利用されるお客様が多い。そのため、ピーク時にはバスカウンターが混雑しており、混雑緩和に向けた対応をお願いしたい。 【新規】

③ 専用リフトバス (Passenger Boarding Lift) の増設

オープンスポットからの発着便において、車いすのお客様を航空機へご案内するために必要なPassenger Boarding Lift (以下PBL) が不足し、利用されるお客様をお待たせしている。今後、利用旅客が増加する見込みであることも踏まえ、PBLの増設をお願いしたい。 【新規】

7. 京浜急行バス

① 運行情報の配信強化

交通渋滞状況などを踏まえたバス運行の遅延予測 (到着予定時刻) やリアルタイムの運行情報をサイネージで発信するなど、環境整備を検討していただきたい。 【新規】

② 多言語でのアナウンス強化

増加している訪日外国人旅客の利便性向上のため、多言語での音声アナウンスを推進していただきたい。 【新規】

③ 南新整備場停留所への雨除け設置

一定数の利用客がいることも踏まえ、新整備地区の他の停留所と同様に雨よけの設置をお願いしたい。 【新規】

8. 東京都

① 羽田空港アクセスの利便性向上

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを含め、訪日外国人旅客の羽田空港から臨海エリアへのアクセス増加が見込まれている。天王洲アイル駅でのモノレールからりんかい線への乗り換えには利用客の多くが南口を利用することが予想され、雨天時やスーツケースを持った移動、車いす、ベビーカーでの移動にとっては不便である。都・区・各事業者が連携し、協議を行うなど、解決に向けた具体的な取り組みを進めるようお願いしたい。 【内容変更】

発展する産業に向けて

1. インバウンド需要拡大における環境整備

2016年度の中部国際空港の空港利用者は好調なインバウンド需要に加え、日本人旅客も前年を超えるなど、順調に増加している。訪日外国人旅行者数の目標達成に向けては、中部国際空港に求められる役割もより大きくなっていくと考えられる。

訪日外国人旅行者が最初と最後に日本に触れる場所である空港の印象は、その後のリピーター獲得や口コミ等による新規旅行者の開拓を考慮すると極めて重要であり、更なる環境整備に向けて、関係者の連携を強化して取り組む必要がある。

空港へのアクセスや名古屋駅における乗り換えの利便性向上は受け入れ態勢の強化において大きな課題である。また、空港周辺のホテルは予約が取りづらい状況が続いており、飛行機の欠航などイレギュラーが発生した際のホテル確保の対応には依然として苦慮している。2020年に向けて空港周辺のホテル拡充が報道されているが、近年増加するインバウンド需要も踏まえて早急な対応を図りたい。

2. 空港における受入体制の強化

出入国手続きの混雑緩和については関係機関が協力して対応していただいているが、依然として手続きに時間を要しており、ピーク時間帯においては長蛇の列になるなど旅行者にとって大きな負担となっている。

急増する訪日旅行者に対しての受け入れ環境を整備し、物的・人的体制の強化を計画的に図り、利便性・快適性を向上し旅行者の負担軽減につなげるべきである。

出入国手続きの迅速化・円滑化に向けて関係各所が連携をし、愛知県および空港会社が主導して官民一体での環境整備施策を図りたい。

働きやすい産業に向けて

① 空港内車両走行について

空港施設には運転者から死角となる場所や危険箇所が点在している。安全な職場環境の構築のため、カーブミラーや注意を促すようなマーキングを設置することを要望する。【内容変更】

② ERAラインについて

現在引かれているERAラインは大型機用に設定されており、小型機ハンドリング時の器材準備場所での有効活用ができな

い。また、一部のスポットにおいては隣接スポットとの境界線が途中までしか引かれていないため、ERAラインとしての機能を果たしていない。作業環境改善に向けて効率的なERAライン導入の検討を要望する。【新規】

③ PBBサービスタア及び、ロタンダドアについて

強風時は風にドアが煽られて危険を感じる。また、女性では容易に開閉ができないため、ドアの開閉をアシストするような器具の設置を要望する。【新規】

④ ダムウェーターの視認性向上および寄り付き動線の確保について

扉に表記してあるスポット表示が小さくダムウェーターの位置が分かりづらい。また、扉周辺に車両が駐車してあることがあり、手荷物の授受を行う際に車両が寄り付けず苦慮している。遠くからでもダムウェーターの位置を視認できる表示方法に変更するとともに、扉周辺への車両駐車を制限するマーキングを施行し、施設内照明についても人感式ライトに変更することを要望する。【内容変更】

⑤ PBBゼブラゾーンについて

一部のスポットにおいてPBB装着動線にゼブラゾーンが無く、作業上危険を感じることもある。車両や人がいた場合危険であるため、ゼブラゾーンの追加を要望する。【新規】



⑥ HIGH POWER RUNUPエリアの新設について

航空機のHIGH POWER RUNUPが必要になった際は柔軟な対応が図られているものの、TAXI WAYでのRUNUPであり、他の航空機に配慮を必要とするため、作業時には依然として多くの制約がある。他の多くの空港に設置されているRUNUPエリアを中部国際空港にも設置することを要望する。

⑦ 害虫駆除対策の継続について

ランプエリアに虫が大量発生し、駆除によりキャビンドアクローズが遅れるなど、航空機の遅延が発生している。また、体

に付着するなどランプエリアでの作業にも支障をきたしており、引き続き事前の抑制に努めていただくことを要望する。

⑧ 雪害対策について

ランプエリアは事業所で除雪することになっているが、大雪になると除雪能力が各事業所では不足している。また通行帯においては、酷い轍が発生してしまい作業に支障をきたしており、大雪などのイレギュラー時は空港会社の管轄を拡大し除雪体制の強化を図っていただくよう要望する。【新規】

⑨ 貨物エリアの避難経路について

中部国際空港（株）が指定している貨物地区の避難場所は貨物事務棟の屋上と確認しているが、有事の際に速やかに避難ができるか懸念がある。貨物エリアで働く全ての作業者が安全に避難できるよう、避難場所の確保や避難動線の点検を継続していただくよう要望する。

利便性向上に向けて

① 出発ロビーにおけるアナウンスについて

旅客ターミナルビル3階の出発ロビーで使用する肉声でのアナウンスは、国内線・国際線に関わらず、全エリアに放送されるため、便が輻輳する時間帯にはアナウンスをしたい時にすぐできないことが多い。国内線・国際線の出発ロビーに流れるアナウンスの放送エリアを国内線側と国際線側に分けて放送できるようにしていただきたい。【新規】

② 国内線保安検査場優先レーンについて

国内線優先レーンは現在繁忙時間のみオープンしているが、多頻度旅客や配慮旅客のためのレーンとして常時オープンすることを要望する。【新規】



③ クレジットカードラウンジの明確化について

クレジットカードラウンジの場所が分かりづらく、保安検査場通過後に再度退場手続きを希望するお客様が頻発している。お客様の混乱を招かないよう、クレジットカードラウンジの案内表示を明確化することを要望する。【新規】

④ 貨物地区通行帯について

貨物地区トラックヤードを走行する車両は横断歩道手前での一旦停止が義務付けられているが、ルールが守られておらず危険を感じることもある。一旦停止の標識を設置し、運転手ヘルム遵守を促すことを要望する。【新規】



⑤ 関係者用駐車場のゲートについて

一部のゲートにおいては、庇が設置されていないため雨天時の出入庫の際に苦慮している。利用者やカードを濡らさないためにも、全てのゲートへ雨避け用の庇の設置を要望する。【新規】

⑥ お客様用駐車場について

航空旅客以外においても空港利用者は毎年増加しており、慢性的な駐車場不足が懸念される。混雑解消に向けて、駐車場の増設や臨時駐車場を拡張することを要望する。【新規】

⑦ 空港内道路案内標識の改善について

今後、新ターミナルや宿泊施設、展示場などの建設が進むことで、空港内の道路や動線が更に複雑化することが懸念される。空港利用者にとって分かりやすい案内となるような標識や案内板の設置、道路のペイント、マーキングなどの施工を要望する。【新規】

⑧ LCCターミナル建設について

新施設建設を控え、既存の施設で発生している不具合を考慮し、作業員および利用者の快適性や負担軽減を考慮した計画の策定を要望する。【新規】

関西国際空港について

1. 空港を利用されるお客様にとって 快適で便利な空港づくりに向けて

① ターミナル施設のバリアフリー化促進について

- ・旅客ゲートに設置されているエスカレーターは、車椅子にも対応できるように通常の3段分が平らになる設定ができる。平らな設定にした場合、大きな段差が生じることから係員が車椅子利用のお客様を安全にサポートすることが難しく、お客様の中には恐怖心を抱かれる方もいる。車椅子を利用するお客様がより安全に使用できるよう改善策を検討いただきたい。
- ・Terminal 1は複数階構造になっており、鉄道駅から4階の国際線出発フロアに向かうためには、階の移動が必要になる。エスカレーターによるカート利用は禁じられているため、階の移動にはエレベーターを利用する必要がある。多数の荷物をカートに乗せた外国人旅行者が増加しており、唯一の移動手段であるエレベーターの本数が少ないため慢性的な混雑が発生している。そのため、車椅子など配慮を要するお客様が利用づらい状況にある。エレベーター増設など改善策を検討いただきたい。

【内容変更】

② 案内表示について

- ・鉄道駅から国際線ロビーへの誘導看板がわかりづらく、国際線出発ロビーへの行き方についてお客様から問い合わせを受けることが多い。また、誘導経路を一旦離れてしまうと看板が少ないことから目的地にたどり着けないケースもある。表示の改善と看板の増設をお願いしたい。
- ・保安検査場からゲートまでの距離や所要時間が把握できず、結果的に乗り遅れてしまうお客様がいるため、保安検査場付近にゲートまでの距離と所要時間を表記した案内看板の設置を検討いただきたい。
- ・国際貨物区域のバス停を案内する看板がエアロプラザへの歩道橋脇に設置されているが、一時立ち入り証の発行場所など関空を初めて訪問された方にとって認識しづらい。また、朝



のラッシュ時においては、看板付近が長蛇の列になっていることから看板が隠れてしまい、Terminal 2行きのシャトルバス乗り場と間違えて並ばれる外国人観光客がいる。駅構内での案内表示や、より目立つ看板にするなど対策を講じていただきたい。

【新規】

③ 無料Wi-Fiサービスについて

ゲートエリアのランプサイドに近いベンチ付近は、無料Wi-Fiに接続しにくくなることもある。今一度Wi-Fi接続環境の点検をお願いしたい。また、「Free WiFi@KIX」のKIXが関西空港と認識できず係員に問い合わせる外国人観光客もいるため、関西空港とすぐにわかるような表記にするなど改善していただきたい。

【新規】

④ Terminal2エリアの施設改善について

81、82、83番スポットにつながる横断歩道が横並びになっており、飛行機が当該スポットに並んだ場合、お客様が別の便に搭乗しかねない。誤搭乗防止のため横断歩道の色分けや埋め込み式のポールの設置など検討いただきたい。

【新規】

2. 空港で働くものがいきいきと働き、 空港としてのパフォーマンスを さらに発揮できる環境をめざして

1) ターミナルビル施設・エリア関連

① PBB施設の改修について

- ・PBB全般の施設改修を検討いただきたい。
- ・お客様が滞留しやすいPBB可動橋にエアコンを設置いただきたい。
- ・PBB先端モニターの解像度が低下しており、退避位置・待機場所の判別が難しく不安全なため改修いただきたい。
- ・PBB操作盤内機種別プリセットが現在就航されていない古い設定となっているため、更新いただきたい。
- ・PBB内に段差が生じており、車椅子利用のお客様が転倒する危険性もあるため、改修いただきたい。

② 保安区域の出入りについて

保安区域を出入りする際は立入証（ランプパス）の提示が必要であり、保安区域内に出社場所がある事業所の場合は、出社・退社時に提示が必要なため、ランプパスを自宅に持ち帰っている現状がある。ランプパスを空港外に持ち出すことで紛失、盗難、悪用される可能性もあるため、保安区域の出入りについてはランプパスの提示ではなく、「貨物立ち入りパス」の新規導入や、将来的には指紋認証などの生体認証の導入を検討いただきたい。

【新規】

③ ターミナル施設のバリアフリー化促進について

車椅子を利用している従業員は、エアライン棟の従業員入口ドアを自力で開けることが困難であり、遠回りして自動ドアがある経路から出退勤している。引き戸に改修するなど、すべて

の従業員にとって働きやすい環境を整えていただきたい。【新規】

2) ランプエリア関連

① 従業員数に見合ったトイレの設置について

ターミナル北側の15、16番スポット付近、および南側の27、28番スポット付近には主要会社だけでもピーク時にはそれぞれ平均150名以上の従業員が勤務しているが、男性用の個室トイレは多いところでも2カ所しかない。従業員数に見合った適切なトイレの設置を検討いただきたい。また、和式の個室トイレについては、作業着を着たままでは大変利用しにくいいため、すべて洋式トイレに変更いただきたい。

② ランプエリア共用休憩室について

共用休憩室の設備を充実していただきたい。

- ・AEDの設置
- ・避難誘導経路の認知度向上のため、喫煙場内に腰掛の設置
- BCP関連の資料(退避MAP)の掲示
- ・Edyチャージ機の設置
- ・インスタント食品等の自動販売機の設置

【新規】

③ ランプエリアの凹凸について

15、16番スポット付近の凹凸により、雨天時には水はけが非常に悪く、数日たっても水がはけない状況である。また、29番スポットのアスファルトが隆起して段差が生じており、機材が引っ掛かり作業しづらい。事故の原因になる可能性もあるため改修いただきたい。

〈15番スポット水はけ〉



〈29番スポットアスファルト隆起〉



④ VDGSの設置について

北側スポットにはERAラインが道路近くまで引かれているスポットが多く、大型機のマーシャリング作業時は、道路際で実施する必要があり非常に危険である。以前発生した「航空機誘導時、誘導者が車両と接触した事故」の再発防止のため、事故が発生した8番スポットとERAラインが道路に近い6番スポットにVDGSを設置いただきたい。



⑤ 大災害時の対応、避難経路誘導看板の改善について

ランプエリアにある避難経路誘導看板は、向かうべき避難場所と現在位置が表記されておらず、どこへ避難すればよいのかわかりづらいため、看板内に地図を加える



など改善していただきたい。また、2期島の避難場所は「避難場所」であることを示す看板が少ないため、一目で避難場所とわかるように設置数を増やすなど改善していただきたい。【新規】

3) 貨物エリア関連

① 国際貨物地区における安全性の確保について

国際貨物地区では全般的に車道が優先され、歩道の確保が十分ではない。また道路に停車しているトラックもあり、歩行者が車道を通ることになり大変危険である。歩行者の安全確保のため、ポールやガードレールの設置または白線を修復し路側帯を明確にするなど改善をお願いしたい。

② 連絡橋の雨除け設置について

合同庁舎と代理店ビルを結ぶ連絡橋が吹きさらしになっており、さらに坂道が緩やかなため、雨と強風が重なった際は、足元が濡れて大変すべりやすく危険な状態である。床が濡れないように通路に雨除けを設置いただきたい。【新規】



③ 55号門の混雑解消に向けて

国際貨物地区への入域の際に、保安ゲートにてIDを発行しているが、許可車両レーンと一時立ち入り車両レーンが固定化されており、主に一時立ち入り車両レーンが頻繁に混雑している。レーンを固定せず混雑状況に応じてレーンを共用化するなど柔軟な対応を検討いただきたい。またID発行についても円滑な手続きに向けWEBによる事前申請などの導入を検討いただきたい。【新規】

大阪国際空港について

1. 空港を利用されるお客様にとって快適で便利な空港づくりに向けて

1) ターミナルビル施設・エリア関連

① ターミナル商業施設の充実

航空機利用者のみならず、地域住民の方々も空港を地域コミュニティの中心として空港施設を利用したいと思えるよう、空港ターミナルビル内における商業施設を充実していただきたい。

② 空港駐車場の拡充・アクセス改善

週末や連休の際の利用状況からも、引き続き改善を要する状況であり、快適な駐車場となるよう駐車場へのアクセスを含めた改修をお願いしたい。【新規】

③ ターミナルビルバリアフリー化促進について

- ・複数名乗車しても安全が確保できるように、広いエレベーターの設置や増設をお願いしたい。
- ・空港内床面は、雨天時濡れることでかなり滑りやすい状況になるため、カーベット化を検討いただきたい。

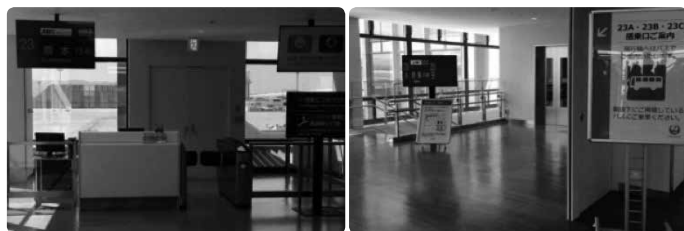
【新規】

④ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた案内表示

- ・更に利用しやすくするためIT (QRコードなど) を活用した案内表示導入を検討していただきたい。【新規】
- ・ゲート(北23番、南9番)とバスゲート(北23A/23B/、南9A/9B/9C)が隣接しており、ゲート間違いによる乗り遅れとなる事象が発生している。誤認識を防ぐ表示とするよう検討していただきたい。

	階層	【現状】	提案内容
北ターミナルビル			
搭乗ゲート	ビル2階	23番	23番
バスゲート	ビル1階	23A	300番
		23B	301番
		3C(工事中)	302番
南ターミナルビル			
PBBゲート	ビル2階	9番	9番
バスゲート	ビル1階	9A	500番
		9B	501番
		9C	502番

(23番ゲート(左)と、23A/23Bバスゲート(右))



- ・ゲート案内表示に所要時間に加えて『距離』の併記も明示していただきたい。

【新規】

⑤ ターミナルビルオープン時間の前倒し

オープン前に数名のお客様が館外で待機している状況が見受けられる。オープン時間の前倒しか、年末年始の期間限定でビルオープン時間の前倒しの検討をお願いしたい。

【新規】

⑥ 駐車場と横断歩道の信号機について

駐車場とターミナルを結ぶ横断歩道の信号機は、ご高齢やお子様連れのお客様は、青色点灯時間が短く渡りきることができない。青色点灯時間を延ばすことに加え、点灯秒数表示型への信号機切り替えを検討していただきたい。

【新規】

⑦ 分煙の強化について

ターミナル屋外中央部分の喫煙スペースでは、スペース周辺の通行者の受動喫煙を防止することが難しいため、喫煙ブースを設けていただきたい。

【新規】

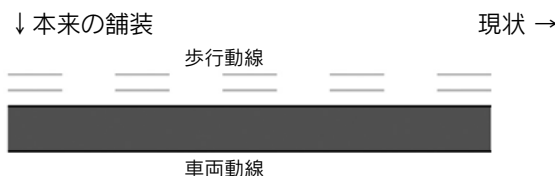
2) 貨物エリア関連

航空機に搭乗されるお客様だけでなく、航空貨物を利用するお客様(個人・代理店)にとっても、安全かつ、快適な利用ができるよう施設の改修や設置を検討していただきたい。

① 台車などでの貨物運搬時における貨物損傷防止に向けたトラックヤード側路面の凹凸修繕 【新規】



② 貨物地区トラックヤードにおける車両と人の動線を棲み分ける路面塗装の修復



【新規】

③ 搬入用シャッターの改修

ハンドリング時(貨物搬出入)使用するシャッターにおいて、作業効率上プライオリティの高いシャッターを優先的に修復するなど、引き続き改修・修復をおこなっていただきたい。

【新規】

④ 貨物エリアの案内板表示

阪急蛍池駅方面から貨物エリアへ向かう際、快適にアクセスできるように、貨物エリアへの案内表示板を設置していただきたい。

【新規】



2. 空港で働くものがいきいきと働き、空港としてのパフォーマンスをさらに発揮できる環境をめざして

1) ターミナルビル施設・エリア関連

① 空港近隣への託児所の設置について

快適に利用できる幅広い保育時間が設定された施設設置を検討していただきたい。

② スポットでのIDLE RUN UP実施可能時間の拡大について

航空会社の機材整備を円滑におこなえる環境を整備することで、確実な定時運航につなげるためスポットでのIDLE RUN UP実施可能時間の更なる拡大を検討していただきたい。

2) ランプエリア関連

① 場周道路の拡充

第1エプロンの場周道路が狭く、車両通行上、危険であり、改善していただきたい。

② ランプ内凹凸の修繕

- ・第1エプロン内 (3.4番スポット)
- ・24番スポット前幹線道路カーブ箇所
- ・北ターミナル到着手荷物回転台への進入口付近

③ ランプ内水はけの改善

ハンドリングにおける安全性強化の観点から、ランプエリア全体における水はけを改善していただきたい。特にスポット12/13/14付近では、TAXI LINEが複雑であることに加え、ターミナルビルの照明が反射しやすく視認性が悪い状況である。

④ TAXI WAY誘導路灯の設置

夜間雨天時におけるPUSH BACK作業の安全性向上に向け、第1エプロンから第3エプロンまでのTAXI WAYに誘導路灯を設置していただきたい。【新規】

⑤ GSE置き場の拡張・増設

ターミナルビル改修によりGSE置き場は減少している。GSE置き場の拡張・増設といった観点も踏まえて施設展開していただきたい。【新規】

⑥ 手荷物上屋エリアの改修について

手荷物上屋エリアを改修する際、従業員動線を鑑みた設計などの工夫を検討していただきたい。【新規】

⑦ 手荷物上屋エリアの工事について

手荷物上屋エリアにおいて、ランプで働く従業員の安全確保ならびに、健康被害の未然防止の視点を持ったうえで、改修工事を進めていただきたい。【新規】

3. 空港保安強化を通じて、 更なる安全で安心な空港づくりをめざして

① セキュリティエリアの警備員配置・巡回

手荷物受取場から手荷物返却ターンテーブルへの連絡口には、特に警備員の配置は無く、航空会社の従業員が監視している状況である。暗証番号の入力が必要なドアはあるが、従業員の出入りが多いため、伴連れすることは容易である。このような状況もあることから、警備員の配置増や巡回回数を増やすことを検討していただきたい。【新規】

② 保安有事合同訓練の実施

空港全体で保安における有事の際の対応といった合同訓練の実施を検討していただきたい。【新規】

③ ID認証や防犯カメラの設置

従業員などの出入り管理の徹底という観点で、ID認証化を導入していただきたい。【新規】

神戸空港について

1. 空港を利用されるお客様にとって 快適で便利な空港づくりに向けて

① ゲートアナウンスの改善

2階出発ロビー内の喫煙所、喫茶店にアナウンスが入るよう改善していただきたい。搭乗予定のお客様が案内に気付かないケースがある。

② 駐車場案内の周知

駐車場精算に関する問い合わせが多く発生しており、周知方法を改善していただきたい。

③ PBB施設の改修

- ・スポット3番のPBBのキャブカーテンの隙間から北風や北東の風が吹いている際に風切り音がしており、搭乗中のお客様も驚かされている。現状では係員の軍手を隙間に挟み対応しているが、見栄えも良くないため改善していただきたい。
- ・各スポットのPBB先端部のみエアコンが装備されており、PBBの付け根付近は通路混雑時に非常に暑くなる。エアコンの増設や機能の向上、定期的なメンテナンスを検討していただきたい。



【新規】

④ スポットでの徒歩動線の確保

オープンスポットハンドリング時にコーンやポールを設置してお客様の徒歩動線を確保している。お客様が間違っ管理事務所に入られた事象もあるため、出口や航空機への案内用の看板の設置を検討していただきたい。【新規】

2. 空港で働くものがいきいきと働き、 空港としてのパフォーマンスを さらに発揮できる環境をめざして

① ランプ内安全

- ・4番スポットのランプエリアから場周道路に入る際、固定橋の死角となるため危険である。カーブミラーの設置等検討していただきたい。
- ・給油所付近にある航空機汚水処理施設に雨水が溜まるため、改修していただきたい。



【新規】

② 保安強化

1階従業員専用入口は施錠がなく、警備員の監視室から離れているため、テンキー化などセキュリティ対策を検討していただきたい。【新規】

1. お客様がご利用しやすく、従業員が働きやすい魅力ある空港づくりに向けて

福岡空港国内線ターミナル再整備事業が本格化し、日々、利用頂いているお客様のみならず、我々働くものにとっても事務所移転や工事による諸変更により職場環境も大きく変化している。2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会開催を控え、多くの外国人を誘致している環境下、福岡空港においても訪日外国人旅行者等の受け入れ体制の充実、整備が従来にも増して求められている。また、国内線ターミナル再整備事業完成が2019年春から10か月延長になったことを受け、工事環境下で保安や安全、快適性をはじめとしたお客様の利便性を確保しながら業務に従事することや働くものの労働安全衛生を確保することについて、航空連合福岡として重く受け止めている。再整備事業完成までの過渡期から完成後において福岡空港を更に働きやすく、お客様にとっても、従業員にとっても魅力ある空港にするべく要請する。

2. お客様にとって魅力ある空港づくり

① ターミナル内、ランプエリア工事区画の仮囲いについて

工事に際し、仮囲いが空港内に多数設置されている。6番・7番ゲート前では南北間のお客様動線上に存在し、通路幅が狭く死角となることから危険である。可能な限り角を落とし、カーブミラーを設置するとともに、サイネージにてお客様へ注意喚起を行うことを要望する。また、ランプエリアにおいても同様に車両通行帯の間際まで仮囲いがあるため、対向車が視認できない状況にある。ターミナル内と同様に角を削ぐ、もしくはアクリル板など視認できる環境整備、通行者へ配慮した仮囲いの設置を要望する。 【新規】



② 出発ロビー内お客様用椅子の増設とムービングウォークの設置について

北側から新ゲートの供用が開始されているが、お客様用の椅子が不足しており、床に座り込んでいるお客様が散見される。また、高齢のお客様・子供連れのお客様から、南北間の移動距離が長いとのクレームを現場係員が受けるケースも発生してい

る。お客様の数にあった椅子の確保と、完成後についてはムービングウォークもしくは代替手段（電動カート等）の導入を検討するよう要望する。 【新規】



③ 10番ゲートバスラウンジにおける環境整備について

10番ゲートにおいて、従来の非常階段を改装しお客様をバスコンコースへとご案内しているが、お客様の転落事故が過去に2件発生している。本動線は過渡期の対応であると認識しているものの、お客様の安全確保のために抜本的な対策を検討していただきたい。 【新規】

④ 福岡空港国内線ターミナル東側再整備事業の広報体制強化について

ターミナル内外のお客様動線が複雑化しており、乗り遅れやターミナル内の分かりづらさに対する声が現場係員に継続的に挙げられている。空港ホームページ上の工事状況をタイムリーに更新し、主要動線をわかりやすく掲載するとともに、メディアを活用し、ご利用されるお客様への工事内容の告知や、天神駅・博多駅構内において時間に余裕を持って空港にくるよう案内を行っていただきたい。

3. 従業員が働きやすい空港づくり

① 夜間におけるスポットの照明について

夜間における照明について、グランドハンドリング作業にとって視認性が悪いスポットが存在する。

- ・北側1番～5番スポットの滑走路側照明の照度、国際線地区Gレーンにおける埋め込み式ライトの照度が、ランプ内での作業、プッシュバック時に十分な照度ではないため、運航乗務員に支障のない範囲で照度を上げていただきたい。
- ・北側新規1番～5番スポットには埋め込み式のライトが設置されておらず、プッシュバック作業時にタクシーウェイの標識を視認することが非常に困難である。埋め込み式ライト設置を含めた視認性の改善を検討いただきたい。

【新規】

② 1番スポットにおけるプッシュバック時の後方車両待機位置について

1番スポットでの大型機のプッシュバック時には機体を大きく蛇行させるが、後方通過車両通行帯の待機位置が不明確であり、車両の待機位置によってはプッシュバックに支障が出る。大型機プッシュバック時の後方車両待機位置を明示し、注意喚起していただきたい。 【新規】

③ ランプ内の凹凸について

脚立使用時に路面の凹凸による脚立のぐらつきが原因で作業者が転落する受傷事故が発生した。再整備工事箇所にとどまら

ず、南側オープンスポット側の路面にも凹凸があるため、駐機中の脚立設置場付近を重点的に、現状の確認と補修等の対応を図っていただきたい。



④ 南側オープンスポットエリアの被雷退避所の設置について

雷雨時に南側のオープンスポットエリアにおいては地上作業員が退避する場所がなく、車両または遠く離れた事務所まで戻り退避することになる。被雷を一時的に避けるための施設設置について昨年に引き続き検討状況を確認したい。

⑤ VDGS設置に向けた進捗確認について

VDGS（駐機位置指示灯）について、導入の日程や設置予定のスポットなど、検討の進捗状況について確認したい。【新規】

⑥ 新固定橋内エレベーターにおけるIC・テンキー化について

北側新ゲートの固定橋へエレベーターが設置され、制限区域におけるハンドリング上の課題は大きく改善されたものの、お客様を円滑に案内できるよう、鍵運用ではなくエレベーターのIC・テンキー化を要望する。【新規】

⑦ 国内線到着ロビーにおける立哨警備強化について

北側到着ロビーのバス到着口制限扉には立哨警備員がおらず、現場係員が監視業務を行っているが、係員はお客様からの問い合わせ対応などもあることから、常時監視業務に専念できず保安上不十分であると認識している。他の到着ロビーと同様に、バス到着の際ロビー入口への立哨警備員の配置を検討していただきたい。【新規】



⑧ 貨物ターミナルにおける環境整備について

貨物ターミナルにおいては、歩行帯と車両通行帯のマーキングが剥がれている箇所があり、従業員や貨物業者の安全確保に課題がある。また、従業員用駐車場においては野良猫のフンの被害が発生している。貨物エリアのマーキング舗装と野良猫の駆除をお願いしたい。また、新貨物ターミナル設計時は上記に加え、自動フラッターゲートの導入、貨物エリアへのコンビニエンスストアの設置など、貨物業者と



従業員の利便性も考慮して施設設計を行っていただきたい。

【新規】

⑨ 管制塔からの指示内容について

航空機のプッシュバック時、管制指示がタキシングや他スポットのプッシュバック状況に即していない場合が散見され、危険を感じることもある。H5スポット付近では、プッシュバック時の機種方位を状況により柔軟に対応しているが、混乱をきたすこともある。平行誘導路完成までは柔軟に対応せざるを得ないが、可能な限りシンプルな管制指示と航空機の地上交通整理をお願いしたい。【新規】

⑩ ターミナル間シャトルバスの混雑緩和について

訪日外国人が増える中、内際ターミナル間の往来が増加している。混雑時間帯においては、お客様優先のため出退勤の従業員が乗車待ちせざるを得ない状況も生じている。混雑緩和に向けた増便などの対応策の検討をお願いしたい。

⑪ 立体駐車場の混雑緩和について

週末や繁忙期には立体駐車場が混雑し、お客様のみならず、出勤している従業員も駐車することができない。再整備工事関係者の車両も多数見受けられるため、お客様と従業員の駐車入り口やスペースを分けるなど、工事関係者を含めた駐車秩序のあり方を整理していただきたい。【新規】

⑫ 北側駐輪場のマナーならびに整備について

北側駐輪場では駐輪スペース外に駐輪されていることが多く見受けられ、利用者から改善を求める声が挙がっている。テナント入居者に向けて注意喚起を要望する。【新規】

⑬ 空港内売店の増設と開店時間延長について

お客様ならびに従業員が食事できる場所が非常に少なく、飲食店には行列ができています。また、ターミナル北のコンビニエンスストアにおいても、昼時は15分程のレジ待ちが発生しており、非常に混雑している。館内従業員がお客様のご利用を妨げているようにも見えるため、お客様の心象も良くない。臨時店舗や飲食を取り扱う自動販売機の増設、コンビニエンスストアの開店時間の延長など、食事スペースや売店の改善を要望する。【新規】

⑭ 22時30分以降の退勤ルートについて

現在、22時30分を過ぎると、一度、地下の保安出入口を通過し、再度、地上へ上がるという非常に長い動線で退勤している。勤務を終えた館内従業員にも退館時のみ工事関係者用通路の使用を認めていただきたい。【新規】

⑮ 福岡空港内における保育所設置の検討状況について

かねてより要望していた館内保育施設について、当組織内の女性組合員の多い労組より根強く声が挙げられている。保育施設誘致の検討状況について確認したい。

1. 産業の持続的な発展にむけて

① 沖縄振興の恒久化・利用者負担の軽減

沖縄は日本で唯一、陸路で結ばれていない島嶼県であり、域内・外の輸送手段として航空輸送の位置づけは極めて重要である。特に航空輸送の充実を図る上では航空運賃の低廉化は最重要課題であり、政府は沖縄振興策の一環として那覇一本土路線の航空機燃料税の軽減措置や空港使用料（着陸料・航行援助施設利用料）の軽減措置を実施し、航空運賃の引き下げを図っている。しかし、沖縄振興策は時限立法であることから、これらを恒久的な制度として実施するとともに、下記の措置を実施し運賃の引き下げを通して利用者の負担を軽減していただきたい。

- ① 沖縄県内一本土路線の航空機燃料税を廃止とすること。
- ② 空港使用料の軽減措置について、恒久的に実施すること。

② 第二滑走路増設について

2020年3月供用開始予定の那覇空港第二滑走路増設については、現状の那覇空港過密化も考慮し、遅れる事なく計画的に進めていただきたい。【新規】

③ 那覇空港国際航空物流拠点計画について

那覇空港における航空貨物取扱量は、国際航空物流拠点計画により年々増加傾向にある。第二滑走路増設も含めた空港整備計画で、さらなる拡大も十分に考慮し進めていただきたい。

④ 下地島空港および周辺用地の利活用について

沖縄県が進めている「下地島空港および周辺用地の利活用実施計画」については、地域の発展と雇用の継続・維持・拡大を前提として引き続き積極的に進めていただきたい。【新規】

2. 直面する課題への対応について

① ランウェイ18利用時の出発待ち行列について

ランウェイ18利用の際、出発待ちの機体が行列となり、33～36番スポットに到着機が入ることができずさらなる遅延につながる事例が発生している。施設構造上の問題ではあるが、運用面での工夫を含めて対策を検討いただきたい。

② 若狭バスへの大型航行船寄港対応について

若狭バスへの大型クルーズ船寄港増加により那覇空港へ着陸する航空機が上空待機となり到着遅延となるケースが増加している。今後の第二滑走路増設含む空港整備計画において、このようなケースが発生しないよう対応を要請する。また、現在検討している第二バスへの寄港にあたっては同様のケースが

発生しないような運用を検証いただきたい。

③ 那覇空港滑走路閉鎖時間帯の対応について

那覇空港における23時から25時半までの滑走路点検に伴う閉鎖について、利便性向上の観点から、より柔軟な運用について検討いただきたい。

④ 宮古空港1番スポットの拡張について

宮古空港のスポット1番を安全性・利便性の観点から北側への拡張を要請する。

⑤ 那覇空港従業員専用駐車場の増設について

那覇空港従業員専用駐車場は慢性的に契約待ちの状況となっている。今後内陸連結ターミナルの増設など、空港で働くものがさらに増えることが予想されることから、新たな従業員専用駐車場設置について検討いただきたい。【新規】

3. 安全で働きやすい空港を目指して

① PBBへのタイヤガード設置について

ランプ内での事故防止のためPBBのタイヤ巻き込み防止措置（タイヤガード）について県内空港において全PBBへの設置を検討いただきたい。

② 那覇空港場周道路の段差について

北フィンガー周辺および機材整備工場付近の場周道路に大きな段差があり安全上問題があるため、定期的な補修作業を行うことを要請する。【新規】

③ 国際線スポット付近の車両通行帯について

国際線スポット付近は工事の影響で車両通行帯が変更となっているが、古いラインが新しいラインより目立っているため、誤って進入するなど危険な状況となっている。古いラインを目立たなくするなど対応をお願いしたい。



【新規】

④ 那覇空港GSE置き場について

那覇空港供給増に伴う対応としてGSE（地上器材）置き場は需要を検証したうえで十分なスペースを確保していただくようお願いしたい。【新規】

⑤ 災害時の体制周知について

大災害に備えた対策として、県内各空港における災害時の体制は、より一層の明確化を図り、国・自治体・関連各社が連携し、働くものすべてに周知を図る対策をとることを要請する。

⑥ 瀬長島の渋滞対策について

瀬長島から国道331号線に出る道路は、瀬長島開発による観光客増や第二滑走路増設に伴う工事車両の通行増により、平日・土日問わず慢性的に渋滞が発生しており、対応いただきたい。【新規】

⑦ 西側整備地区の道路側溝について

9番ゲートから入構し西側整備地区までの動線において、道路側溝に蓋がなく安全上問題があると考えます。蓋を設置するなどの対応をお願いしたい。【新規】

⑧ 国際線ターミナル内従業員休憩室設置について

国際線ターミナル内には従業員休憩室がないため、国内線ターミナル同様、供用の休憩室設置について検討いただきたい。【新規】

⑨ 那覇空港内託児所設置について

空港内で働くものが仕事と家庭の両立をはかれるよう、空港内における託児所設置について検討いただきたい。

⑩ 災害時の避難経路(石垣空港)について

石垣空港ターミナルから一般道への避難経路は、現在国道アクセスのみであり、他経路確保について検討いただきたい。

4. 利用者にとって安全・快適な空港を目指して

① PBBへの空調設置について

利用するお客様の満足度を高める目的から、全PBBへの空調設置を検討いただきたい。【新規】

② 国内線の動線案内表示について

那覇空港国内線においてゲートから到着口までの動線について、わかりやすい場所・デザインの表示を検討いただきたい。

③ 国際線ターミナルの狭隘化^{きょうあい}対応について

訪沖外国人旅行者の増加に対応し、CIQおよびX-RAY検査、手荷物受け渡し場所等、必要な物的・人的対応について検討いただきたい。

④ 国際線ターミナルのコインロッカーについて

那覇空港国際線ターミナルのコインロッカーについて、国内線ターミナルにあるような大きな荷物にも対応できるサイズのロッカー増設を検討いただきたい。

⑤ レンタカー利用者送迎バス乗り場について

那覇空港国内線ターミナル1階レンタカー利用者送迎バス乗り場は日常的に混雑しており、送迎車が通行帯で停車するなど安全上問題となる状況もみられる。またレンタカー送迎車乗り場の北側にある一般乗降場所は、スペースが小さくこちらも日常的に混雑しており、停車できないケースも発生している。そのためレンタカー利用者送迎車乗り場の他の場所への移動など対応・検討いただきたい。【新規】

⑥ LCCターミナルの場所案内について

那覇空港においてLCCは貨物ターミナル内で案内・搭乗手続きを行っているが、国内線ターミナルにあると認識されるお客様が多いことから、よりわかりやすい案内となるよう那覇空港

およびLCC各社連携して検討いただきたい。

⑦ LCCターミナル行きシャトルバス乗降場所について

那覇空港国内線ターミナルからLCCターミナル(貨物ターミナル)まで運行しているシャトルバスについて、国際線ターミナルでも乗降できるように検討いただきたい。【新規】

⑧ 空港周辺ゴミ投棄等の景観保全対策について

バスプール付近でのごみの投棄、空港周辺の車両動線におけるタバコの吸殻ポイ捨てなど景観を損ねる状況について、注意喚起を促すなど対策を図ることを要請する。

⑨ 空港北口交差点の右折矢印信号表示について

空港から、うみそらトンネル方面に向う北口交差点は右折矢印信号がなく、渋滞の発生および無理な右折による危険な状況がみられるため右折矢印の追加等対策を検討いただきたい。【新規】

⑩ 空港アクセス交通機関の運行体制について

空港利用者拡大への対応として、公共交通機関による空港アクセスについては、その本数・路線等運行体制について検証したうえで、さらなる利便性向上を図ることを要請する。

⑪ ゆいレールへの全国共通IC導入について

ゆいレールについて県外からの観光客利便性向上の観点から、県外にて利用されている全国共通交通系ICとの連携について検討いただきたい。【新規】

⑫ 宮古空港駐車場カート置き場の設置について

宮古空港駐車場において、利便性の観点からカート置き場の設置を要請する。【新規】

⑬ 新石垣・宮古両空港へのコンビニ設置について

新石垣空港・宮古空港において利便性の観点から、コンビニエンスストアの設置を検討いただきたい。

5. 沖縄観光の発展にむけて

① 交通インフラのさらなる整備について

鉄軌道計画の推進や、ゆいレール延伸計画、泊港の混雑緩和など交通インフラの整備は沖縄観光の発展に重要な役割を担うことから、その計画をより一層推進していくことを要請する。

② 無線LANおよび多言語対応の推進について

急速に拡大するインバウンド需要への対応として、県内各空港および観光・宿泊施設、街中における多言語対応および無線LAN対応をより一層推進していくことを要請する。

③ 観光地における環境と景観の保全について

沖縄の観光は、環境資源に大きく依存していることから、観光地における環境と景観の保全について、より対策を強化することを要請する。